

令和6年3月11日(月)

校長室より(166)



こんにちは。

あの日は、今日のように晴れてはいるものの寒い日でした。三咲小学校の6年1組の担任をしていた私は、今の4年4組(1棟3階)の教室にいました。短縮日課だったので、校内には先生たちと部活動をしていた吹奏楽部員しかいませんでした。

6年1組の子供たちが下校してから通知表を書いていて少し眠くなってきたときに、あの強い揺れに襲われました。それが14:46です。しばらくは教室にいたのですが、揺れがおさまらないので職員室に下りて、そのまま校庭に出ました。そこには既に吹奏楽部員が避難していました。揺れが収まって校舎内に戻りましたが、その後も大きな余震に襲われて、その度に外に出ました。正門近くの電信柱が右に左に大きく揺れていました。

大きな揺れが収まった後に校内を見て回ると、パソコン室のパソコンが机から転落していたり、1棟と2棟の間の渡り廊下の繋ぎ目が大きく割れていたり、廊下の天井から床にかけての壁にひびが入っていたり、図書室の本が床に散乱していたり、至る所に被害が出ていました。テレビを点けても、まだ情報が集まっていないようで被害の詳しいことは全くわかりませんでした。ただわかることは、「これまで経験したことがないほど大きな地震」ということでした。

これが、13年前の3月11日に起こった「東日本大震災」です。今日、気付いた人もいますが、その日に尊い命を亡くされた人たちのご冥福を祈って、半旗を掲げました。

